

FIT journal
Vol. 7 / 2020.May



北陸技術士懇談会

Hokuriku Professional Engineers Conference

目 次

1. はじめに
2. 令和元年度総会・特別講演会報告
3. 50周年記念事業報告
4. 令和元年度技術講演会報告
5. 令和元年度北陸3県内合格者名簿
6. 令和元年度(2019年度)役員名簿
7. 令和2年度(2020年度)行事予定(案)

1. はじめに

会員の皆様には、日頃より北陸技術士懇談会の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

また、昨年は設立50周年を迎え、記念事業として橋本会長ご提案の北陸技術士懇談会の愛称FITのロゴマークを制定し、11月にKKRホテル金沢で、足立参議院議員のご来臨と多くの方にご参加頂き盛大に記念式典・記念講演会を開催しました。さらに、記念誌の発行も無事終了したところであり、会員各位のご尽力の賜物と感謝しております。

年度毎に発行のこの会報誌も今回で第7号となり、表紙デザインもFITjournalとスッキリしました。

さて、昨年は平成から令和の時代に変わりましたが、地球温暖化の影響とも考えられる異常気象が続いており、10月の台風19号の豪雨による千曲川の氾濫で新幹線車両基地が水没し、北陸新幹線が運休となる大きな自然災害が発生しました。このため北陸からも長野県へ災害復旧に多くの技術士が派遣され、ご活躍されてきたことと思います。

また、令和2年に入っても、昨年に続き雪のないお正月で、水力発電も心配される状況でした。2月以降、中国発の新型コロナウイルスが世界中に蔓延するパンデミック状態となり、3月末には、アメリカが16万人を超す世界一の感染者数となってしまいました。また国内では、岩手他の4県を除く43都道府県に感染者が発生し、特に東京、大阪、愛知の大都市圏に急速に拡大しました。このため、2020東京五輪・パラリンピックも1年の延期が決定されたほか、安倍首相が水際状態の長期戦、イベント自粛、緊急経済対策の策定指示を表明しました。

当会の今年度の総会・合格祝賀会までには、ある程度まで収束していることを祈念するばかりです。

一方、明るい話題としては、富山の朝の山関が無観客春場所で大関昇進を決めたこと。そして、3月21日に富山駅の南北を走る路面電車の直通運転がスタートしたことです。全長15.2キロのLRT網が完成し、コンパクトな街づくりの大きな到達点となりました。また、2月の技術講演会で女性技術士の方に女性の視点から講演&パネルディスカッションしていただき「働きやすさ改革に向けて」自らの経験を踏まえた貴重なご意見を拝聴できたことです。本号に記載されていますので是非ご一読下さい。

北陸技術士懇談会 副会長 大石 守仁

2. 令和元年度総会・特別講演会報告

令和元年度 北陸技術士懇談会の総会・特別講演会を令和元年6月8日(土)、金沢勤労者プラザ3F会議室で行いました。

■総会

開会の挨拶で橋本会長から、当懇談会の活動内容の紹介の他、本会が50周年を迎え11月に記念行事を開催することで提案しているの、承認とご意見をいただきたいとのお願いがありました。

総会の議事進行は会則により会長が議長となり議事を進行しました。

1. 議 事

第1号議案 平成30年度 活動報告と決算(案)

第2号議案 令和元年度 活動計画と予算(案)

第3号議案 役員改選について

2. 報告事項

3. その他

以上の内容について審議を行い、いずれも原案通り承認されました。なお、役員改選では今年度は50周年記念行事もあり、事務局長を埒理事が引き継ぐ以外は再任することで承認されました。

報告事項では、50周年記念行事のロゴマーク制定等に会場から複数の提案や意見もあり、次回の役員会で詳細を検討することで理解を得ました。また、女性部会の平澤委員長から活動報告がありました。

なお、参加者は、総会出席者は41人、講演会は76人、交流会は35人でした。



【総会での橋本会長挨拶】

■特別講演会

講演1:「金沢の都市づくり 来し方 行く末」

～新幹線とスポンジ化の狭間で～

金沢学院大学 経営情報学部 教授

・KG都市研究所長

竹村 裕樹氏



【竹村氏のご講演】

石川県庁において金沢の都市計画に長年携わられており、過去の経緯から現状の課題を具体的に説明され、今後の対策についても具体的な提案をされた。

全国的な都市を取り巻く課題は、人口減少社会へ

の変化、量的拡大から質的充実へ、新市街地開発から既成市街地再構築へ、など潮流が大きく変化しているのが現状との認識であり、金沢をテーマに都市計画上の変遷や今後の課題、解決策の提案などを紹介された。

(1) 金沢の都市づくり

歴史的な視点から、誕生期～萌芽期～成長期～成熟期と位置付けた分析を紹介され、これからは新幹線が開業し成熟期に入ったとして、ハード・ソフト両面からの新しいアプローチが必要とされた。

(2) 新幹線開業の光と影

新幹線開業による光として、観光客向けの宿泊・商業施設や文化施設等は経済効果が大きく、加賀・能登全域に効果が波及していること、ライフスタイルの質的向上（便利でスピーディな東京往復等）、広域観光ルートの展開により近県観光資源とのネットワークによる相乗効果等がある。一方、影としては、観光客のマナー問題や地元客・地元店への支障、観光客向けの流行は本来の文化なのか等が言われているとのことであった。

今後の課題としては、新たな観光の展開や来訪者との共存共栄、移住・定住の促進、市民生活ファーストの取り組みなどが重要と提案された。

(3) 成長・成熟の光と影

成長期には、郊外へのドーナツ化現象が問題となったが、今は「まちなかのスポンジ化」の進展が問題となっている。特にまちなかの人口減少、高齢化、身近な商店の減少がまちなかのスポンジ化を進め、小学校の統廃合やコミュニティ活動の危機、空き地・空き家の増大が起きていることを紹介された。その対策として、①まちなか空き地の公共的空間への暫定利用、②空き家・空きビル・統廃合施設の公共的施設への転用、③人間優先のみち空間に再編、④ハード、ソフトのツーウェイ作戦の4つを提案された。

講演2：「ダム・水門における流量推定技術に関する問題とその対策」

石川工業高等専門学校環境都市工学科 准教授

鈴木 洋之氏



【鈴木氏のご講演】

ダムや水門における流量推定技術は、既に確立している人々が多く、現実の現象と理論値の誤差の大きさが存在するなど、多くの課題が残されていることを認識されていないことが大きな問題と指摘された。

(1) ダムにおける流入量と放流量の推定問題

ダムの流入量は「貯留量の時間変化量」＋「放流量」で計算されるが、ダムの水位データの変化をみると頻繁に上下動を繰り返している。これは風の影響を受けるとともに、その貯水池特有の「セイシュ」と呼ばれる長周期の水面変動があることが分かっている。

現地計測と水理解析により計測水位データからノイズを除去する手法として貯水位平準化フィルタ法を提案し検証した結果は非常に良好であり、一方では計測データから直接静水位を推定する手法として、同期加減算処理という推定法を開発するなど、研究が進んでいることが紹介された。

富山県の神通川・庄川にある直列多段の発電ダム群での流量精査を通じて、洪水時に生じるダム放流量の精度劣化が明らかになり、実際の放流量が大きくなる過大放流に繋がるので早急な解決が求められることや、庄川の合口ダムにおける洪水時の流況解析を行った結果では、越流水深が堰高を超過すると貯水池内の流速が著しく増大することが確認されたことから、解決策を構築することが重要だと指摘された。

(2) 水門について

富山県の小矢部川にある小矢部大堰の水門で、水門放流量と下流の河川流量が一致しない状況が続いていた。既存の水門理論は水路幅と同じ幅の水門（単門）を対象に構築されたものであるが、実際の水門は複数の水門を持つことが多いことから、単門の理論では適応できない流れの変化があることが分かってきた。

現在の水門理論では自由流出ともぐり流出が別々に定式化されているが、このような流出形態の判断が重要であるのに、判断手法が存在していないのが現状であることから、既存理論をベースに水路幅と噴流幅をモデル式に組み込んだ計算法を構築し、流出形態を判定する手法を提案されているとのことであった。

■交流会

総会及び特別講演会後、金沢勤労者プラザ1階のレストランで、講師を囲んで交流会を行った。大石副会長の挨拶・乾杯の後、講師との懇談の他、会員同士の交流も活発に行われ、今度副会長の音頭で中締め後、散会となった。



【交流会の一コマ】

(文責：福井 為沢 剛)

3. 50周年記念事業報告

■はじめに

北陸技術士懇談会 50周年記念事業が、令和元年11月9（土）にKKRホテル金沢で開催された。

北陸技術士懇談会（以下、懇談会）は、昭和44年8月に発足し、北陸3県（福井・石川・富山）の技術士、技術士補の親睦と情報交換等を図ることにより、技術士業務の普及・進歩・改善および地域（社会）貢献に寄与することを目的としている。

現在、会員は約1800名で、総会、研修会、技術相談、新技術士合格祝賀会、新しく技術士や技術士補を目指す方々への受験相談等も行っている。

■記念事業の概要

50周年記念事業として、記念式典・記念講演会・祝賀会が行われた。参加者は約110名であった。

【北陸技術士懇談会 50周年記念事業の概要】

- (1) 記念式典（開会挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈等）
- (2) 記念講演
①松尾 隆 氏（㈱コーエイリサーチ&コンサルティング
コンサルティング事業部 主席コンサルタント）
「グローバルな視点からのインフラ整備」
②川上 洋司 氏（福井大学名誉教授）
「一体化に向けた北陸の地域づくり
～したたかでしなやかに～」
- (3) 祝賀会（開会挨拶、来賓祝辞等）

(1) 記念式典

橋本栄治会長の開催挨拶では、懇談会の設立50周年を機に、愛称とロゴマークを制定し、ロゴマークは、技術士の英語表記「professional engineers」のpとeに、北陸三県のF（福井）、I（石川）、T（富山）の頭文字を組み合わせてデザインしたこと。また、色彩は、北陸三県に共通する「青」は日本海、「緑」は豊かな自然、「オレンジ」は大地や歴史文化をイメージして、ベースの「青色」は技術士の知性を表現したこと。愛称は、北陸三県の頭文字「FIT」（フィット）としたと説明があった。



【橋本会長の挨拶】

また、来賓として与党技術士議員連盟幹事長 参議院議員 足立敏之様と、公益社団法人 日本技術士会北陸本部 本部長 大谷政敬様から祝辞を賜わった。

その後、北陸技術士懇談会 大深伸尚理事より、懇談会の50年の歴史について報告があった。

さらに、本会の活動に多大な貢献をされた会員の方々に橋本会長より、感謝状の贈呈があり、感謝状贈呈者を代表して、屋敷弘相談役から謝辞の挨拶があった。

(2) 記念講演会

講演1：「グローバルな視点からのインフラ整備」
㈱コーエイリサーチ&コンサルティング
主席コンサルタント 松尾 隆氏

松尾氏の前職であるアジア開発銀行での研究報告を元に、成長するアジア・アフリカには膨大なインフラ需要が存在すること。しかしながら、日本企業は、ゼネコン、コンサルタント共に、海外売上高は世界上位に食い込んでおらず、コンサルタントの海外売り上げは、ODAに大きく依存しており、ODA以外の海外進出の壁はまだ高いと講演された。

講演2：「一体化に向けた北陸の地域づくり～したたかでしなやかに～」

福井大学名誉教授 川上 洋司氏

金沢・敦賀間、その先の北陸新幹線全線開通は、北陸の位置づけ（役割）を大きく変える。そのことを踏まえた地域づくり戦略が必要である。その戦略としては、地域の貴重な資源を発掘し、磨き上げ、結び付ける地域総体としての魅力づくりと、高速交通（新幹線・高速道路）を幹として、地域内交通網（二次交通）を整備し、地域資源を結ぶアクセスの確保が必要である。成熟社会における新たな地域発展モデルを示す意識が求められると講演された。

最後に、記念式典及び講演会を通して、大石守仁副会長より閉会の挨拶があった。

(3) 祝賀会

祝賀会では、来賓として国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 山田哲也様、石川県土木部部長 竹俣隆一様から祝辞を賜わり、有澤良一前会長の乾杯で始まった。多くの参加者で50周年を祝い、盛会であった。最後は、今度充之副会長の中締めで散会となった。



【祝賀会の様子】

（文責：石川 埒 正浩）

4. 令和元年度技術講演会報告

令和2年2月8日(土)、北陸技術士懇談会第2回技術講演会が、金沢勤労者プラザにて会員約50名の聴講の下に行われた。

■橋本会長のご挨拶

昨年11月の北陸技術士懇談会設立50周年記念事業に多くの方に御参加いただき、この場を借りて御礼を申し上げます。

設立51年目の令和2年の講演会は、これまでの女性青年委員会の女性部会の活動を踏まえ、北陸3県の女性技術士の方に女性の視点で講演して頂く予定である。今後も、北陸技術士懇談会として、今回のような新しい企画に取り組んでいきたいと考えているので、是非今日の講演会が第一歩のスタートになれば良いと挨拶された。

■講演内容

講演1：「自然の中で仕事をするということ」

㈱北陸環境科学研究所

環境科学部環境科学グループ 主任研究員

多田 照代氏

(1) 自然環境調査について

自然環境調査が行われる目的は様々であるが、調査の目的に応じて、どの生物群について、どのように調査を行うかを検討することが重要である。

自然環境調査には、同じ場所を数年おきに実施する基礎調査や特定の種の保護を目的とした調査もあるが、多くは様々な事業に伴い行われている。また、これまでの遂行業務例として、具体的な調査内容を挙げて紹介された。

(2) 現地調査での苦労やよかった点

現地調査で苦労した点は、体力と神経を使うため、大変多い。よかった点としては、サケの産卵やミズクラゲの大群等の普段見ることが出来ない珍しい生き物や風景に出会えることができる点が挙げられる。

(3) 女性が働きやすい会社の取り組みについて

在籍している㈱北陸環境科学研究所における取り組み例として、育児休暇・介護休暇の設置、時短勤務および時間外勤務の制限、時間有給の設置、複数の担当者への設置等について、具体的な事例を挙げて紹介された。



【多田氏のご講演】

これまで遂行して来られた業務について、一つ一つ丁寧に説明している姿が印象的であった。女性技術者の現場作業ということで、大変な苦労があったと思うが、自然環境調査を通じて貴重な生物を保護していく思い、使命のようなものが現在のエネルギーになっているものと思われた。我々技術者も見習うべき点が多く、素晴らしい方だと思った。

講演2：「継続は力なり」

東京コンサルタンツ㈱ 金沢支店 次長

高島 智佳子氏

(1) 自己紹介(女性技術者としての生い立ち)

学生時代は、入学～卒業までの9年間で、土木工学科の女性は自分ひとりであった。また、就職活動においても、殆どの会社に女性ということを理由に断られたが、何とか地元建設コンサルタントに入社することが出来た。その後、現在の会社に転職を図り、国土交通省への出向を経て、技術士を取得し、立場も変化したことで、「主導権を握る」ことの重要性と握る方法を覚え、現在に至っている。

(2) 現在の女性を取り巻く環境

近年は、建設業界で女子学生の募集が増え、労働環境の改善が考えられるようになったが、「女性が輝く社会」の取り組みに対して、84%の女性がイラっとすると回答している。その理由としては、仕事では平等を求められるのに、家庭での育児、家事労働の殆どを女性が担っており、労働環境の大きな改善が求められない限り、育児期の仕事と家庭の両立は難しい。

女性はマルチタスクであり、複数の作業を同時にこなすことができ、真剣に子供に向き合った女性だからこそ、我慢強く人材育成が可能となる。

(3) 私たちがすべきこと

人はそれぞれ能力が違い、人には得意・不得意がある。全員が同じ仕事が出来ようになるように、適材・適所を考えてあげることが大事である。

10年後には、「女性の活用」「男女共同参画」などという言葉を使わなくても、当たり前の中になって欲しい。



【高島氏のご講演】

聴講者が引かれる話術を駆使して、これまでの御自身の女性技術者としての歩みと、今後の社会に望む“あるべき姿”についての思いを熱く語って頂いた。今後、日本社会が発展していく上で、今回話していただいたことは、とても大事なことであり、私

自身も若手の人材育成を図っていくためのヒントを得たような気がした。

講演3：「ひととのつながり」

(株)アーキジオ 調査設計部 課長

石井 仁美氏

(1) 地盤調査の業務

地盤調査とは、建設現場の土質構造、土の物理・科学・力学特性等を詳細に調査するものであり、現場仕事が多い。

地盤調査業務の流れは、発注者との打ち合わせ・協議、測量、埋設物確認、試掘調査、地権者・関係機関との協議、ボーリング調査、その他業務の目的によって、様々な調査を行う。

(2) 女性技術者の課題

現場仕事が多いため、危険動物がいる中での作業やトイレ等の問題がある。更には、業界内は男社会であり、周りが男性しかいない中での労働環境、育児の問題、家事との両立が困難である。

私が所属している部は計7人中3人が女性であるが、官公庁や他社でも女性技術者が増えては来ているものの、結婚や出産等で退職される方が多いのも現実である。

私が現在も仕事が続いている理由は、様々な現場を経験したことで、技術士を取得することができ、尊敬できる上司や仕事で絶対的な信頼を寄せる人がいたことが大きい。今後、現場作業が多い女性技術者を働きやすくするためには、仮設トイレの設置や仕事の悩みを一人で抱え込まないような環境を整えることが大事である。



【石井氏のご講演】

御夫婦ともに県外出身者であったことから御両親にお子さんを預けることが出来ず、育児の面で大変苦労されたことが良く分かった。そんな中で、尊敬できる上司がそばにいて、力強く支えてくれたことが、言葉の端々から伝わった。最後に、その尊敬していた上司への哀悼の意を聴講者に伝えられ、感動的な講演となった。

■パネルディスカッション

コーディネーターの平澤由佳氏(株)国土開発センター)から、本日のテーマである「働きやすさ改革に向けて」について、3人のパネリストの方々に対して、女性技術者の視点からご意見を頂いた。

冨田氏(福井県)から、一人で仕事をしないで各々の役割分担を定めて業務を遂行している。コミュニケーションを積極的に取り、相互理解を深めていくことが大事であるという意見があった。

高島氏(石川県)から、自らの経験を踏まえた人材育成に力を入れている。また、個々に合った業務を与え、それぞれの個性に合わせたレベルアップを図っているという意見があった。

石井氏(富山県)から、自分達の経験を如何に若い人達に伝えていくかが大切である。特に、男女は、お互いを尊重しあった助け合いが日々の業務においても必要であるという意見があった。

最後に、平澤氏が女性技術者のロールモデルが少ない中で、社内だけではなく社外にも目を向け、人とのつながりを大切にして頂きたい。その意味でも、この北陸技術士懇談会への参加を通じて技術者の方々に応援することが出来れば良いとまとめた。



【パネルディスカッションの様子】

■交流会

今度副会長の音頭で乾杯の後、各講師を囲んで和やかな懇親に入った。今後の女性技術者の活躍を期待しながら、お互いの近況を語り合い和気あいあいのうちに終了の時間となり、大石副会長の音頭で中締め後、散会となった。



【交流会の様子】

(文責:富山 大江 正道)

5. 令和元年度北陸3県内合格者名簿

●令和元年度北陸3県内合格者名簿（官報及び当会で確認できた方のみ掲載：R2.4.4現在）

1) 第二次試験合格者（★当会に連絡のあった方は県名及び勤務先掲載）合格者総数：63名（内、石川会場61名）

県名	氏名	部門	所属先	県名	氏名	部門	所属先
石川	原田 智樹	電気電子	北陸電話工事(株)	福井	千秋 智和	建設	福井県丹南土木事務所
石川	飴谷 洋一	繊維	北陸ウェブ(株)	福井	野坂 和典	建設	中央測量設計(株)
石川	鷹合 滋樹	金属	石川県工業試験場	福井	丸中 孝通	建設	福井県道路建設課
石川	角田 和明	建設	ホクコンマテリアル(株)	福井	藤抜 雅夫	建設	福井県河川課
石川	濱田 康行	建設	(株)国土開発センター	福井	山内 義康	建設	福井県道路技術公社
石川	畑 浩介	建設	(株)日本海コンサルタント	福井	斉川 佳広	建設	(株)サンワコン
石川	大岡 明弘	建設	石川土木総合事務所	福井	朝井 範仁	建設	福井県丹南土木事務所
石川	七郎丸一孝	上下水道	(株)国土開発センター	福井	伊藤 裕一	建設	あわら市土木部
石川	石原 和則	建設	(株)共同設計	福井	浜本 孝夫	総合技術監理	中央測量設計(株)
石川	山本 隆一	森林	東京コンサルタンツ(株)		西村 知紘	機械	
石川	西川 幸成	森林	(株)国土開発センター		上田 和美	電気電子	
石川	池田 雅弘	森林	石川県農林水産部森林管理課		五島 敏宏	電気電子	
石川	玉田 洋一	衛生工学	(株)アクトリー		後藤 俊規	電気電子	
石川	加茂 圭祐	応用理学	応用地質(株)		柳田 祐樹	建設	
石川	山本 裕馬	環境	金沢市役所		寺口 巨生	建設	
石川	片桐 寿通	環境	(株)国土開発センター		木内 誠	建設	
石川	玉村 清文	総合技術監理	アルスコンサルタンツ(株)		渡部 春樹	建設	
石川	高永 智恵	総合技術監理	(株)日本海コンサルタント		窪寺 洋介	建設	
石川	白井 勝敏	総合技術監理	(株)国土開発センター		法水 哲	建設	
石川	大家 弘聡	総合技術監理	金沢市役所		中山 健太	建設	
石川	山本 隆一	総合技術監理	東京コンサルタンツ(株)		村田 和志	上下水道	
石川	小川 和也	総合技術監理	(株)国土開発センター		長平修一郎	上下水道	
石川	平澤 由佳	総合技術監理	(株)国土開発センター		堀 孝成	上下水道	
富山	藤本 真紀	建設	国土交通省北陸地方整備局		山本 昌也	農業	
富山	中尾 貴裕	建設	北陸電力(株)		竹内 均	森林	
富山	谷口 達彦	建設	北陸電力(株)		神村 浩康	情報工学	
富山	日下 正樹	建設	北電技術コンサルタント(株)		坂倉 範彦	応用理学	
富山	山口 武志	衛生工学	(株)柿本商会		占部 昇芳	総合技術監理	
富山	中野 剛士	農業	(株)上智		佐野 司行	総合技術監理	
富山	明石 秀司	環境	日本海環境サービス(株)		谷口 英次	総合技術監理	
富山	宮田 博之	総合技術監理			矢野良太郎	総合技術監理	
富山	加藤 和宏	総合技術監理	大鉄工業(株)北陸支店				

2) 第一次試験合格者（★当会に連絡のあった方のみ：順不同）：石川会場での合格者総数：199名

県名	氏名	部門	所属先	県名	氏名	部門	所属先
石川	石坂 和夫	情報工学	(株)PFU	富山	中村 英高	化学	富士フィルム富山化学(株)
石川	井山 椋香	建設		富山	根岸 満明	化学	YKK(株)
石川	岩佐奈生子	建設	(株)日本海コンサルタント	富山	藤川 光利	衛生工学	北陸電力(株)
石川	北出 和裕	建設	(株)建設マネジメント北陸	富山	Poddar Vinay	機械	BBS ジャパン(株)
石川	車 奈緒美	建設	(株)東洋設計	富山	南 雄大	金属	(株)小松製作所
石川	玄師 康樹	建設	(株)日本海コンサルタント	富山	本村 克美	機械	(株)マツダ
石川	小西 美咲	上下水道	(株)日本海コンサルタント	福井	岡部 将享	建設	(株)川上測量コンサルタント
石川	坂井 孝則	建設		福井	木本 忠宏	電気電子	
石川	酒井 理史	電気電子		福井	千味 靖直	上下水道	あいでん(株)
石川	高辻 奈美	建設	NTT インフラネット(株)	福井	前川 晃一	建設	日本振興(株)
石川	高橋 建太	建設	中日本パウェイ・エンジニアリング名古屋(株)	福井	雪森 泰輝	繊維	ジェイ・エス(株)
石川	中野 秀平	建設	(株)日本海コンサルタント				
石川	納谷 明宏	建設	石川県立大学				
石川	平位 拓也	農業	北陸農政局西北陸土地改良調査管理事務所				
石川	二木 涼花	建設	(株)プラネット・コンサルタント				
石川	三竹 秀和	建設	(株)国土開発センター				
石川	室 美江	建設	(株)東洋設計				
石川	山岸 遥	建設	(株)東洋設計				
石川	山下 恭正	建設	金沢工業大学				
富山	浅畑 智美	建設	中部地質(株)				

6. 令和元年度（2019年度）役員名簿

役職	氏名	県名	部門			所属先	所属先役職
会長	橋本 栄治	福井	建設			前田建設工業(株)	関西支店福井営業所・顧問
副会長	大石 守仁	富山	建設			(株)寺島コンサルタント	参与
副会長	今度 充之	石川	建設	総監		東京コンサルタンツ(株)	取締役北陸支社長
理事(総務委員長)	池田 保裕	福井	建設	総監		(株)ワカサコンサル	福井支店長
理事(総務委員)	岡村 興一	石川	機械	総監		岡村技術士事務所	所長
理事(総務委員)	辻 隆治	福井	建設	総監		(株)サンワコン	東京支店東日本本部
理事(総務委員)	初田 浩也	富山	建設			新和設計(株)	代表取締役
理事(事業委員長) (事務局長)	埴 正浩	石川	建設	総監		(株)日本海コンサルタント	専務取締役
理事(事業委員)	大江 正道	富山	建設	総監		北電技術コンサルタント(株)	第二土木部 統括部長代理
理事(事業委員)	佐渡 正	富山	建設			佐渡技術士事務所	所長
理事(事業委員)	為沢 剛	福井	農業			(株)帝国コンサルタント	技術顧問
理事(事業委員)	西出 俊亮	福井	建設	総監		福井県庁	福井土木事務所長
理事(事業委員)	東川 敏	石川	建設			清水建設(株)北陸支店	顧問
理事(事業委員)	森下 正	富山	機械			川田工業(株)	北陸事業部・主幹
理事(事業委員)	山崎 裕生	福井	農業			丸一調査設計(株)	
理事(業務委員長)	竹内 勝信	富山	建設	総監		竹内技術研究所	所長
理事(業務委員)	大深 伸尚	石川	建設			アルスコンサルタンツ(株)	会長
理事(業務委員)	川崎 善徳	福井	農業			丹南農林総合事務所	所長
理事(業務委員)	藤田 久之	富山	建設			北陸電力(株)	土木部部长
理事(業務委員)	野口 将志	石川	建設			(株)ホクコク地水	
理事(姓・姓親)	平澤 由佳	石川	農業			(株)国土開発センター	設計事業部設計3部担当部長
理事(姓・姓親)	佐々井 忍	富山	建設			共和クレーン(有)	代表取締役
理事(姓・姓親)	茅田 照代	福井	環境	建設	農業	(株)北陸環境科学研究所	環境科学部主任研究員
理事(姓・姓親)	辰橋 浩二	石川	建設	環境		(株)国土開発センター	環境事業部環境1部担当部長
監事	加藤 充哉	石川	上下	環境	総監	加藤技術士事務所	所長
監事	坂井 正明	福井	上下			環水工房(有)	代表取締役
監事	庄田 浩二	富山	建設	総監		建設技研コンサルタンツ(株)	技術管理者
相談役	津田 直昭	福井	上下	衛生		(株)中村正	部長
相談役	有澤 良一	富山	建設			(株)アリサワ技術	代表取締役社長
相談役	屋敷 弘	石川	建設	農業	総監	屋敷技術士事務所	所長

7. 令和2年度（2020年度）行事予定（案）

開催予定月日	事業内容
2020年6月6日	北陸技術士試験研究会の後援 総合技術監理部門受験講習会 ※中止もあり
2020年6月13日	令和2年度総会 ※書面議決
2020年7月18,19日	拡大青年技術士会議（新潟）（7月18日（土）～19日（日）予定）
2020年7月11,12日	技術士第二次試験（石川会場）11日：総監部門、12日：総監以外部門
2020年9月19日	第1回役員会・第1回技術研修会（講習会）（金沢勤労者プラザ） 令和元年度新技術士合格祝賀会（ANAクラウンプラザホテル）
2020年10月11日	技術士第一次試験（石川会場）
2020年10月2～5日	第47回 技術士全国大会（愛知県名古屋市）（10月2日（金）～5日（月））
2021年2月6日	第2回技術研修会（講演会）（金沢勤労者プラザ）
2021年4月3日	第一次試験合格者（JABEE含む）ガイダンス（金沢勤労者プラザ）
2021年4月3日	第2回役員会、令和2年度新技術士合格祝賀会（ANAクラウンプラザホテル）

★★ 編集後記 ★★ これまでの「懇談会 会報」は名称を「FIT journal」と改めました！

今年度の新技術士合格祝賀会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から延期となりました。祝賀会が延期となったのは、2011年の東日本大震災以来です。一日でも早く感染拡大が収束することを願うばかりです。昨年の50周年記念事業は、お陰さまで多くの方にご参加頂き盛会でありました。また、会員の皆様の御尽力により、50周年の歴史を紐解き、記念誌という形でまとめることができました。

北陸技術士懇談会は、今後も様々な行事を開催してまいりたいと思いますので、北陸3県の技術士が益々増加し、会員の皆様方の相互交流・能力向上・社会貢献の場として、本会が関わっていければ幸いです。

【事務局】(株)日本海コンサルタント内 〒921-8042 金沢市泉本町2丁目126番地 TEL076-243-8258
北陸技術士懇談会 HP：<http://www.hokugikon.org/> ※過去の行事資料や写真が掲載されています